



JSS 便り

ジャパニーズソーシャルサービス ニュースレター

JSS会長より

デービッド・池田

先にご案内申し上げましたJSSチャリティー・コンサートが大変成功裏に終わりましたことをご報告いたします。2016年9月24日 Glenn Gould Studioにて開催されたこのコンサートは、著名なピアニストの渡辺規久雄・寺田悦子ご夫妻をお招きし、お2人の演奏をお楽しみいただきました。

今回のコンサートはJSS史上初めての大規模なチャリティー・イベントでした。このイベントを成功に導いたファンディング理事の山本順子氏と、委員会のみなさまに感謝するとともに、イベントの成功を共に喜びたいと思います。

山本氏は素晴らしいリーダーであり、目標達成のためコンサート当日まで委員会を牽引し、スポンサーや寄付者の方々にイベントへの協力を呼びかけて下さいました。

渡辺・寺田ご夫妻の御従姉妹でいらっしゃるSachiko Kagitomi氏にも感謝申し上げます。Kagitomi氏は山本氏にコンサートを通じたファンディングのアイデアを下さき、チケットの売り上げに大きく貢献して下さいました。トロント日本商工会の久保恵一氏には、商工会メンバーの方々にコンサートを御宣伝いただくとともにイベントスポンサーをご紹介いただきました。JSSのイベントに商工会メンバーの方にこれほど積極的に関わっていただいたのは今回が初

めてではないでしょうか。Anthony Liliefeldt氏は持ち前のクリエイティビティを發揮し、広報・販促用品とプログラム作成を担当して下さいました。Marion Yanase氏は関連文書全般の編集にご尽力いただき、またコンサート運営に携わって下さいました。新理事であるMichelle Chibba氏は、コンサート運営全般とGlenn Gould Studioとの折衝という非常に困難な業務に当たって下さいました。私の父親であるシド・池田氏もチケットの売り上げに貢献してくれました。

コンサート当日、またイベントの宣伝とチケット販売において多くのボランティアの方にお手伝いいただきました。私にはあまりなじみのないFacebookなど新しいプラットフォームを使った広報には驚かされました。ボランティアと広報をお手伝いいただいた、B Nationの皆様、ありがとうございました。通常業務に加えて、初めての大規模なファンディングイベントの企画や予算運営にあたっていただいたJSSスタッフにも感謝しております。

最後に、コンサートにご来場いただきJSSをご支援いただきましたすべての皆様に感謝いたします。期待を遥かに超えた素晴らしい演奏であったとの感想を各方面からいただきました。日本からお越しいたご素晴らしい演奏を披露いただいた渡辺・寺田ご夫妻に、改めて感謝の意を捧げたいと存じます。

JSSスタッフ、理事会、ボランティア、クライアंटの皆様々に代わりまして、心より感謝申し上げます。◀

カウンセラーより

公家孝典 JSSカウンセラー

JSSが日英の両言語でカウンセリングとコミュニティープログラムを提供する社会福祉機関として活動を始めて以来、30年が経とうとしています。トロントだけでなくオンタリオ州全体で見ても、このようなサービスを提供している非営利慈善団体は設立当初から現在にいたるまでJSSしかありません。そのため、JSSに持ち込まれる相談内容は極めて多岐にわたります。さらに、例えば精神疾患のある相談者が病院の管理下に入ったあとも、治療のための通訳や相談者の日本にいる家族との連絡役としてJSSが継続的にケースに関わる場合など、日本語の通じる専門機関および専門家が非常に少ないために、英語しか通じない専門機関・専門家にケースをつないだ後も、JSSが引き続き言語や文化的な面でのサポートを提供することが多くあります。

精神疾患の代表的なものに“うつ病”がありますが、糖尿病とか胃潰瘍が「病気」であるように、“うつ病”も単に「憂うつである」とか「落ち込んでいる」というような気分的な状態を指すのではなく、脳内の化学物質のアンバランスが原因で起こるれっきとした「病気」です。臨床的な鬱病は深刻な状態になると希死念慮（自殺願望）を伴うことが多く、まさに命にかかわる病気です。そのような重い鬱病のケースがJSSに入ってきた場合、その相

談者のファミリードクターか緊急を要する場合には病院の救急室につなぎ、精神科医の診察や治療が受けられるように手配します。残念ながら、カナダの医師免許を持ち治療にあたるのが可能な精神科医で日本語の話せる方はGTAには一人もおられないようです。そのため、そのようなケースの大半は、JSSがカウンセリングだけでなく、病院での診療や退院後のプランを話し合うためのミーティングなどで通訳などのサポートを提供することになります。また、ワーキングホリデーで滞在中の若者や短期留学生などで、OHIPも無くファミリードクターもいないケースも少なくなく、そのようなケースではJSSにかかる負担はさらに大きなものになります。カウンセリングはJSSのもっとも主要なオペレーションの一つです。「カウンセリングのゴールは何ですか？」と問われたら、“カウンセリングによるサポートですべての相談者が最大限の元気と笑顔を取り戻すこと”と答えたいですが、これはカウンセラーの私から見てもあまりに理想的な目標です。しかしながら、やはりこの理想に向かって精進していくことが大切なんだろうな～、とJSSのカウンセラーとしてきた10年を振り返ってみて改めて感じる今日この頃です。 ◀

オンラインのレント 詐欺に注意!

高野 千恵

JSSには様々なレントに関するトラブル相談が相次いで入ってきます。同じ手口の被害報告が複数寄せられているケースも

あり、今回はそのひとつを相談者の同意を得てご紹介します。

ネット上のクラシファイド (Kijiji, Craigslistなど) で写真付の物件をみた人が記載されているメールアドレスに連絡をする。「自分は英国で医師として働いているため、デポジットを送ってくれば鍵を郵送する」と返事がきます。指示に従いMoneygram (送付人と受取人の名前、レファレンス番号のみで銀行を通さずにお金の送金ができるシステム) でデポジットを送ると、相手から「デポジットを受取ったので鍵を送る」という連絡が来るも、鍵は結局届かないというものです。JSSに報告されているケースでは、「大家」の男性の名前も、実在のDFS Worldwide社のスタッフを装った人物が「仲介業者」として登場し信頼できる取引にみせるという手口も同じでした。うち一件では実際に英国内でお金が受け取られていることが判明しています。オンライン取引に関わらず、相手が信頼できると感じて第三者に一度相談してから契約や支払をするなど、十分注意してください。

JSSでは、Downtown Legal Servicesの協力を得て、賃貸人の権利を学べるセミナーを11月20日(日) 午後1時にトロント大学構内で実施します。申込み: Chie (416-385-9200, jss.outreach@gmail.com) ▶

年末恒例のホリデー ドライブ

トロント在住のサポートを必要としている日本人や日系カナダ人の皆さんが少しでも楽しく歳末を過ごせるよう、今年もぜひ

皆様のご協力をお願いします。腐らない食品、新品のおもちゃや防寒衣類等を、各地域団体や店舗等に設置しておりますドネーション用の箱に11月12日～12月11日の間にお入れ下さい。利用者のニーズにより多く答えるため、今年は特に寄付金を歓迎します。ホリデードライブ用と明記し、小切手を直接JSSまでお持ちいただくか、表紙記載のJSS住所迄送付下さい。どうぞよい年をお迎え下さい。 ◀

JSSのウェブサイトでは更に多くの情報が掲載されております。

<http://www.jss.ca> と Facebook(Japanese Social Services)を御覧ください。

新しいオンラインJSS便りもWebから閲覧可能です。“English”をクリックして下さい。

<http://jss.ca>

JSSニュース謝辞

編集:

池田 デビッド

寄稿:

池田デビッド、公家孝典、リーヴス高野千恵

制作:

リリフェルト アンソニー

翻訳者:

公家孝典、リーヴス高野千恵、世古由佳里、岩井香織、ペン クローディア